

わかばの四季

バードメイト活動のどうぐばこ

春

テーマ

- * 春へとび出せ
- * ひみつのサイン
- * 春の足おと
- * 巣づくり大作戦
- * 森のシェフたち
- * ガラクタハウス
- * レッツゴーメイト
- * 森のだいくさん
- * バード原人

私は、南国九州の、とある郊外で、バードメイトとともに四季の移ろいの中で、楽しくゆかいに遊ばせてもらっている幸せな一人のリーダーです。

外は吹雪ですが、突然、天をふるわせ雷鳴がとどろき、集まったBM(バードメイト)たちが一瞬、ほんの一瞬です・・・静まり、やがて別の声音の騒々しさが集会場に広がります。知っているのです。もうすぐ春ということ。“春”“はる”“ハル”・・・春になったら、しなければならぬことがいっぱいあるのです・・・。それは、冬だって楽しいことはいっぱいですが、でも、春の楽しさは心がうきうきして、目も輝くし、耳もピンと立つし、体は軽くなるし、中でも一番うれしいのは、お腹いっぱい春が入ってくることです。

= ピクニック =

バードメイト活動では、戸外に出て歩くことを「ピクニック」といいます。“そぞろあるき”とでも言うのでしょうか。同じような行動に「ハイキング」というのがあります。これはボーイスカウト運動の祖、ベーデン・パウエルという人が復活・普及させた言葉だそうですが、こちらは、かなり訓育的な目的と方法をふまえた行動となります。バードメイト年代のころは、内容としてはハイキングであっても、そこに何が生まれるか、

どんな自然が待っているかをお伺いする、そんな人間の意図を離れたものを楽しむ意味も込めて、“ピクニック”と言うのだと、私は理解しています。

とにかく外に出て、そぞろに歩くのです。目を見開き、耳をそばたて、五感いっぱい春を喜びながら歩きましょう。「あっ、こんなところに花が咲いているっ!!」「何ていう花?」「わからない」「スケッチして、あとで調べよう」「おや先生におみやげに持って帰ろう」と、次の行動が生まれてきます。

BMが一番好むプログラムは、(実は、私が一番喜ぶのですが)春を食べることです。四季を通して、野山は春が一番うまい(美味)であります。これは、街の高級レストランでいかに財布をカラにしても求めることはできない絶品料理“ハル”であります。メニューをご紹介します。

= フルコース・はる =

- かえるのモモとノビルのみそあえ
- みどりのスープ
(野草のスープ、ベースは鶏だし)
- 大草原の小さな肉まん
(ギョ - ザ皮に野草の肉のあん)
- はるテンブラ(もう、若葉はぜんぶテンブラ)
- はるの巣ごもり
(セリ、つくし、ミツバの卵とじ)
- 火の鳥の巣
(つくしとセリのゴマ油いため、しょう油でしあげ)
- まんぷく鍋(野草ぞうすい)

ここまで食べたら、もう大満足!!家では野菜ぎらいのBMも、親を泣いて喜ばすのぼせ食いで、食後訓も声高々であります。「いただきま - す」と言いますが、「おいのちちょうだいいただきます」という実感は、ことのほか“春”“ピクニック”においてであります。

= 地図・追跡 =

ピクニックを実施する方法としては、簡単な地図（わかりやすい絵地図や道路地図など）を使用して、目的地へ導くやり方や、追跡サインを追うやり方などさまざまです。

実施してみても思うのですが、いろいろなタイプの進ませ方をおりませるやり方のはうが、楽しくもあり、間違いがないようです。例えば4 Km行程ならば、最初2 kmはバスで行くよう指示をして、下車したら、あるお店で次の指示を手紙で示し、そこから地図で進み、あとは追跡を楽しむ... などです。特に追跡は町部より田舎の方がサインの材量も多種ですし、周囲も自然にあふれていますから、観察力を発揮してサインを探す喜びを多く与えてくれます。サインを見つけるにしても、地図記号を注意深くよみ、そのことに熱中してもらうためにもひと工夫します。一番多く用いる方法は、メッセージ（手紙）を配することです。内容は、これを見落とすと、とても損をする、という内容です。「あの時、ふざけながら歩いとったので、おやつのありがわからなかった」とか、「えらい遠まわりをしてしもうた」とか、そんな声がある程度しそうな工夫をすると、よりスリリング、オモシロみが出てきます。

= 巣づくり =

春という季節は、協力することを実践し、仲間意識を高める時でもあります。すみか（巣）を作ることプログラムする願いもここにありますが。昔のガキどもは、たいていの子はこれをしていました。だって、家の中に子ども部屋なんて一室は与えられていませんでした。天気の良い日に家の中に居たら追い出されています。街の辻、空地、田舎の田畑、野には子どもの姿がここかしこ見られていたものです。その子らが、ちょっと仲間と想うとしたら、当然「ヒミツよ」という場所が不可欠でした。それが “ 巣 ” です。とにかく親・大人の目から逃れ、思わず「ウフフ」「へへへ」と心さわぐ、そして変に安らぐプライベートスペ

ースでした。ここは、他に見つからない、僕の、私だけの、大切なものがある場所です。せまい、ほの暗い、でも生活の音は聞える、そんな「ウフフ」のところでした。こんな巣を、BMにも作ってもらおう、というのが“ 巣づくり ” です。材料は、ダンボールが集めやすくベターです。このプログラムは、毎年やるのがよいと思っています。1、2年の間はまだ下手ですが、そのうち先輩の経験が、仲間をリードしていき上手になります。そしたら、場所を、境内や、近所の信者さんの庭や林などにて、他にはわからない『ヒミツ性』を与えると、もっと面白くなります。

“ 春 ” 子ども以上に、天地のよろこびを受け現すリーダーが求められます。

3月第1週班集会プログラムB M隊

時間	項目	担当	プログラム	準備品
	(30分前) 「集まる間」	CNL SNL CNL SNL	CNL、SNLは集会30分前には来てバードメイトたちを迎える。 1、打ち合わせ (1)集会内容 (2)準備品の確認(進歩壁掛表など) (3)次の集会日を決める。 2、バードブックのサイン 3、みんなが揃うまで静かに遊ばせる。	進歩壁掛け表 ギアBOX 模造紙 七草カード 歌のプリント 観察ノート 寒暖計
	0分 「開会」10分	CNL SNL SNL	1、お届「今月のテーマと今回の願い、班員のこと」 2、ご祈念 3、開会儀礼 『CNLのはなし』 ・3月のテーマ「春の足あと」 ・主な活動「観察」 ・遠い北の国からやってきた白鳥やツルがそろそろ帰り始めました。代わってツバメなどがもうすぐやってきます。渡り鳥たちは、カレンダーも時計もないのに毎年同じように行動しますね。なぜでしょう。それは、風の方角や温度などで春が来たのを知り、移動するときが来たと感じる力を神様からもらっているのです。私たち人間も、見る、聞く、におう、味わう、肌で感じるという力をもらっています。でもこの力は、使っていないとだんだん役に立たなくなります。今月は春の気配をからだ全体でつかもうという月です。目を耳を鼻を体を精一杯敏感にさせ、心をはたらかせて春を探しましょう。こういうことを観察といいます。	
	10分 「ゲーム」5分 15分	SNL SNL	ゲーム『変わったのはどこだ』 (1)班員は二つに分かれて向かい合う。奇数の時はCNLも入って (2)観察する方(A)とされる方(B)にわけ、AはBの上から下まで服装、髪、アクセサリーの位置などを30秒間観察する。 (3)Aは後を向き、その間にBは一カ所だけ服装またはその他を変化させる。 (4)再び向かい合ってAはBの変化を見つける。違っているところは、一度だけしか言えないのでよく気をつけること (5)今度はAとBが逆になって(1)～(4)と同じことを行う。 (6)“祝声” 正解(変化を正しく言えた子)の数により多いグループに祝声をおくる。	
	「ゲーム」7分	CNL	ゲーム『私の名前はななくさです』 初めに春の七草のはなし ・皆さんは、春の七草ってしていますか？七草というのは、7種類の草ということで、昔から日本人は、1月7日に一年間元気で	

			暮らせますようにと7種類の草をお粥に入れて食べました。なぜお野菜ではなくて、草を食べたのでしょうか？それは、草というのは強いでしょう。誰も世話をしなくても、また人に踏まれても雪や霜にあってもグングン育っていきます。その力強さを体にいただくというわけです。草だって料理の方法さえ良ければおいしいし、栄養はとても多いのです。それでは今から、その七草の名前をゲームで覚えましょう。	
		SNL	<p>(1)全員輪になって座る。</p> <p>(2)「春の七草名カード」を一枚ずつ配る。この時一番から順に七草おぼえのとおり配ること。 せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ…(七草おぼえの順)</p> <p>(3)カードに書いてある七草名(一種)がゲーム中のその子の名前である。</p> <p>(4)以下「紹介ゲーム」のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人ずつ順に名前を紹介し、また憶える。 ・「私は、せりです」「この人はせりで、私はなずなです」「あの人はせりで、この人はなずなで、私は、ごぎょうです」…だんだん数が増えていく。 ・メンバーが7名以下の時は、七草が揃わないので、最初の子は2枚のカードを持ち、「私は であの人は で…私は、 です」と前と今の二度、自分の名…違う名…をいうことになる。 ・メンバーが、7名を越えるときは、また「せり」から順でそのまま続ける。 	
22分 「班活動」		SNL	<p>ピクニック(45分間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班集体会場の付近を散歩し、春の雰囲気を観察し、ノートに記録する。 <p>指示 SNL 「観察のポイント」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の芽のふくらみ ・へび、蛙など小動物 ・昆虫 ・小鳥の鳴き声や野山の様子 ・小川や水たまりなどの様子 ・気温を調べる <p>寒暖計は、直接太陽があたらないように、また風も当たらないところに置き気温を調べる。</p> <p>「観察ノートの書き方」</p> <ul style="list-style-type: none"> なんでも気づいたことを書く 絵にあらわされる物は丁寧にスケッチする。 観察のために木の枝や昆虫、蛙などを折ったりいじめたりしない。 	<p>観察ノート ×10</p> <p>寒暖計</p>

		CNL SNL SNL	<p>実施にあたっては、道を歩くときは、車に気をつける。交通ルールを守りキチンと並んで進む。</p> <p>観察するときは、解散して自由にさせるが、リーダーの声が聞こえる、また姿が見える範囲で行動させる。</p> <p>CNL・SNLは、春の七草を採集し、BMに見せ名前と本物を一致させる。</p> <p>まとめの作業(33分間)</p> <p>(1)報告会 班長を司会にして、ノートしたことを発表、絵(スケッチ)も見せ合う。</p> <p>(2)まとめ作業 模造紙を3つに分け、分担して班員の報告を記入する。 判明、月日、天候、気温 自然の様子 文 自然の様子 スケッチ (色鉛筆やクレパス、ポスカラなどで色を付ける)</p>	模造紙×1 ギアBOX
	歌の練習(10) 後片づけ (5) 連絡 (3) 閉会 (2)			